

令和6年度 第2学期 始業式式辞

始業式に当たり、まず皆さんに御礼が言いたい。夏休みが始まってすぐに、県総体、コンクール等が県内各地で開催され、私も可能な限り観戦させていただきましたが、皆さんは3年生を中心に、本当によくがんばりました。長い時間、そこに留まることはできませんでしたが、皆さんが一生懸命取り組む姿に感動しました。ありがとうございました。

いよいよ今日から2学期が始まります。皆さん一人一人がこういう2学期にしたいと目標を持って今日を迎えたと信じています。もし、まだ夏休み気分が抜けない人がいるのならば、早めの切り替えをお願いします。

さて、この夏休み期間中ですが、震度5弱以上の地震が国内で3回ありました。四国に近いところでは8月8日に九州の日向灘を震源とする地震で震度6弱、その際、はじめて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。

幸い、現時点で、心配されたような巨大地震は発生しておりませんが、私たちはその備えを怠ってはなりません。皆さんも知ってのとおり、昨日9月1日は防災の日でした。そのことも踏まえて、ここで、一つエピソードを紹介します。

ある先生、ここではAさんとしましょう。Aさんが海外に勉強のためにアメリカのボストンに派遣されたときのお話です。参加した日本人4人が同じホテルに2部屋に分かれて宿泊しました。21時（午後9時）ごろ、突然ホテルの非常ベルがなりました。非難を呼びかける館内放送はありません。炎はもちろん煙の気配もありません。洗面台にいたAさんは同室のBさんに聞きました。「どんな様子かわかる？火事じゃなさそうだよね。」「そうだね。誤報なんじゃないの。」Aさんはとなりの部屋のCさん、Dさんにも電話で聞いてみました。「我々もよく分らないんだ。しばらくこのまま様子を見るよ。」Aさんは非難した方が良い気もしましたが、皆に合わせ、4人ともしばらく部屋に留まっていました。

しかし、10分経っても非常ベルは鳴り止みません。CさんからAさんに電話がかかってきました。「なんかまずいぞ。外見ろよ。人がたくさん道路にいるぞ。」4人は、すぐにパスポートや財布などの貴重品を持って外に出ました。道路に宿泊客が集まっていて、バスローブ姿の人や、裸でタオルを巻いているだけの人もいました。一番遅く非難したのがAさんたちだったようです。

結局、非常ベルは誤報でした。しかし、4人はすぐに非難した外国人たちの姿を見て自分たちの危機意識の低さを痛感したそうです。

4人はなぜ、逃げるのが遅くなったのでしょうか。その原因に2つのバイアスがあります。バイアスとは、先入観や思い込みのことをいいます。

一つ目は正常性バイアスといって、自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりする特性です。火災などによって自分の命が危険にさらされている、でもきっとたいしたことはない、根拠もなく思い込むことです。Bさんの「誤報なんじゃないの」という言葉から、このバイアスにかかっていることがわかります。

2つめのバイアスは、多数派同調バイアスです。過去経験したことがない出来事が身の回りに起きたとき、その周囲に存在する多数の人の行動に自分の行動が左右されてしまうことです。多くの人の判断に従った方が正しいのだろうと考えることです。となりの部屋のCさん、Dさんが部屋に留まる選択をしたことで、Aさんはそちらの選択肢に流されたのです。

災害はいつ起こるか分かりません。(昨日までは台風10号で、大雨・暴風・波浪警報が出され大変でした。)自分の命を守るため、中学校生活だけでなく、これから将来を通じて、最悪の事態を想定して、行動してほしいと思います。

また、先ほどの2つのバイアスは、皆さんが中学校卒業後の進路を考えるときにも参考にしてほしいと思います。十分な準備をしていないにもかかわらず自分は大丈夫だろうという安易な思い込みや、友だちと同じ高校を選べば間違いないだろうと流されてしまったら、きっと後悔します。進路決定を間近に控えた3年生には、悔いのない選択をしてほしいと心から思います。

結びになりますが、今日から始まる2学期は、3つある学期の中で最も長い学期です。この2学期の過ごし方で、それぞれの学年の充実度が変わってくるでしょう。一人一人ができること、やるべきことに一生懸命取り組んでください。2学期が1学期同様、いや、それ以上のものになることを期待して、始業式の式辞といたします。

令和6年9月2日

観音寺市立観音寺中学校長 三好健浩

○ 防災の日（毎年9月1日）

1923（大正12）年に発生した関東大震災に由来する。この震災は、約10万5千人の死者や行方不明者を出し、日本史上最悪の被害をもたらした。その記憶を胸に、国民の防災意識を高めるため、1960（昭和35）年に国が制定したもの。